

# 広報湯田川

第 209 号

平成 28 年 1 月 1 日 発行

鶴岡市湯田川地区自治振興会

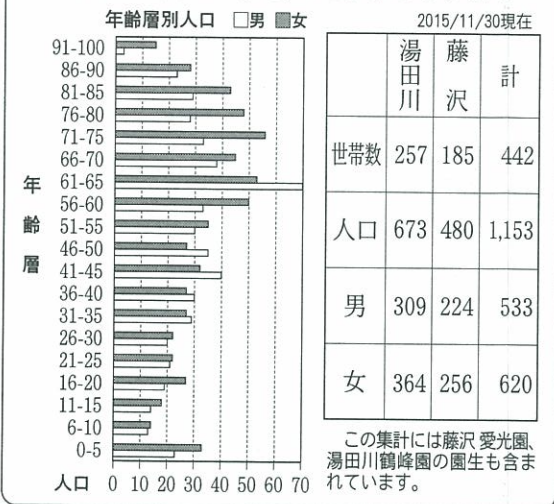
## 新年を迎えて

湯田川地区自治振興会  
会長 萬年 慶一

新年明けましておめでとうございます。昨年は地域の皆様には何かと御理解、御協力を頂き心から感謝申し上げます。

あらためて昨年を振り返って見ますと、地球温暖化に起因するといわれる、夏の異常高温、局地的な豪雨や強風、竜巻等かつて経験した事のない大きな気象災害が多発した年でした。幸いにも当地ではこれら大きな災害には遭遇する事なく経過して参りましたが、備えあれば憂いなしの言葉通り湯田川防災会事業として地域消防団や消防協力隊の皆さんの全面的な協力を得て災害防止のための整備を進めて参りました。又これまで避難場所として来た旧湯田川小体育館に変わるものとしての新ホールについても今年度中には建設に向けて一歩を踏み出す見通しです。平成二十八年の新しい年を迎えて職員一同、地域の皆さんと一緒に安全で明るい、そして住み良い地域づくりを進めて参りますのでどうぞよろしくお願い致します。

## 今年の湯田川地区を支える人口



## 還暦を迎えて

瀬尾 由紀子

私は四十才に二日前の結婚という晩婚で、仙台から鶴岡に来て今年で二十年になります。初めは言葉が聞き取れず、風習にも慣れず苦労しましたが、二十年も経つと田舎の風景に愛着が湧き楽しく過しています。

この辺りは食べ物が美味しく、飲食店もどこに入っても外れがありません。小さい畑ではありますが、姑が野菜を作っています。冬場はじゃがいも、白菜、大根、長ねぎなど、とても助かります。この先も美しい風景など変わらず、私をいやしてくれることを願って止みません。

## 還暦を迎えて

金子 朋

還暦など他人事のように思っていたが、今年で人生六十年、大きな節目を迎えます。振り返れば、仕事や子育てと無我夢中で過ごし自分の中ではまだまだ若いと言いつつ、ここまで生きてきました。現実には厳しいもので、体力的・精神的に結構、衰えを感じています。ここまでこれたのも多くの人達や家族に助けられたからであり感謝しています。

定年退職に残りわずかととなり、子供たちも一人ひとり自立・成長し、また両親を看取り夫婦二人の生活にも慣れて来ました。これからも地域の人の繋がりを大切に日々の生活における充実感・満足感を得、心も体も健康に人生八十年、最終到達点を目指して進んで行こうと思っています。



園児たちの輝きに満ちたステージとなりました  
(平成27年12月20日 幼児音楽フェスティバルにて)

## ふるさとへの便り

### 私の原点

小林 佳奈子 (旧姓 後藤)  
(湯田川小平成二年度卒)

謹んで新年のお慶びを申し上げます。高校卒業まで過ごした故郷の思い出は、目を閉じると今もなお鮮明に蘇ってきます。金峰山を眺めながらの登下校。夏のBGMは蛙の合唱とヒグラシの声。孟宗汁に笹巻き、しそ巻き、庄内柿、そしてなんと言っても祖父が作るお米。四季折々の美味しい郷土料理で兄弟四人すくすくと育ち、今のようパソコンや携帯が当たり前ではない時代でも、裏山や田んぼを駆け回り、遊びに事欠くことはありませんでした。

小学校時代は、かっぱ太鼓や御神楽の発表などでよくコミセンを使わせて頂きました。グラウンドの相撲場での相撲大会、ミニバスケットで全国大会に行ったこと、梅干し遠足や地区運動会など、懐かしい思い出が沢山詰まった湯田川小学校。統廃合の知らせは寂し

い限りでしたが、当時の思い出は今もずっと私の宝物です。

高校留学で一年日本を離れた時は、改めて家族の有り難さを実感し、日本の良さや故郷の素晴らしさを再認識しました。日本の良さを世界に広めたいと決意し、日本語教師を目指して大学へ進学。卒業後はアメリカで教壇に立ち、日本語の授業では庄内弁も教えましました。「もったいな」 「んだ」 「け(食べれ)」 など、教科書とは全く違う方言に子供達は興味津々。実家から送ってもらった「からから煎餅」は特に人気で、何が出てくるか分からな

いサプライズに生徒達は大喜びでした。現在は目黒区議会議員として仕事をさせて頂いていますが、元気の素はやはり故郷の食べ物と庄内弁でのたわいもない会話。鶴岡が国内初のユネスコ食文化創造都市に認定されたように、庄内地方は本当に豊かな食文化と郷土文化に溢れています。この土地で生まれ育ったことは私の誇りであり、原点。東京でも庄内の良さを沢山PRしてファンを増やし、いつか後援会の皆さんを鶴岡に連れて行くのが夢。遠くからではありませんが、地域の皆様の益々のご健勝を心より祈念致しております。

## 今年の小学五年生

### 将来の夢を語る

湯田川地区から朝陽第四小学校に通っている五年生は三人です。皆さん全員から将来の夢を語っていただきました。

藤沢 後藤 康輔

ぼくの夢は、今ががんばっているスポ少の野球を中学校、高校と続け甲子園に家族を連れていく事です。四小グラウンドで練習する時もドリムで練習する時も家の人から送りむかえをしてもらって大好きな野球をする事が出来るので、今よりもっと努力し甲子園に家族を連れて行く事がぼくの一歩の夢です。

藤沢 五十嵐 澤央

ぼくの将来の夢はバスケットボールの選手になることです。理由はバスケットボールは習ってはいけれど得意だしバスケットボールをするのが楽しいからです。勝ち負けは関係なく楽しくすることが目標です。これからも楽しくバスケットボールをしたいです。あと夢だけに集中しないで他の事も考えて充実した人生を送りたいです。

湯田川 小田 紗智

私の将来の夢は、二つあります。一つ目は、お医者さんです。お医者さんになるのは、大変かもしれませんが、私はそんなにあなたが良いとは言えません。私からたくさん勉強して、みんなにたよられる、りっぱなお医者さんになって、一人でも多くの人を助けて、たくさん笑顔を作っていきたいです。

二つ目は、英語の先生です。私のお母さんは「フィリピン」で生まれ育ちました。お母さんに、英語を教えてもらって、大人になってから、外国で過ごし自分の実力をはっきりして、自分で「英語教室」を作ってたくさんのお中学生に教え、将来の夢にいかして行ってもらいたいからです。

将来、この夢がかなうかわかりませんが、これから、「たくさん、たくさん」勉強し、この夢をかなえられるように、できることをやっています。これからは、がんばっていききたいです。

## 転居しました

どうぞよろしく

- ・お名前 石井 絢子 (あやこ)
- ・旧住所 鶴岡市青龍寺字北内4
- ・新住所 鶴岡市湯田川甲28-31
- ・趣味 絵を描くこと

ここに引越して来てから一年くらいになります。初めは不安でしたが、皆様の温かな支えと、この穏やかな環境のもと、今日まで充実した生活を送ることができました。ふっつが者ではありませんが、これからもどうぞ宜しくお願いいたします。

## 赤ちゃん紹介



ひなこちゃん  
佐藤 妃那子 (三地区)  
父 佐藤 勇太・母 知里  
平成27年6月20日生まれ